

幕張新都心モビリティコンソーシアム 自律移動モビリティ PT
(第4回) 議事要旨

時間： 2023年2月6日(火) 10:00～11:30

場所： オンライン開催

出席： 株式会社 NTT ドコモ千葉支店

京セラコミュニケーションシステム株式会社

京成バス株式会社

株式会社建設技術研究所

シャープ株式会社

双日株式会社

損害保険ジャパン株式会社

株式会社千葉ステーションビル

日本ペイント・インダストリアルコーティングス株式会社

千葉市

デロイト トーマツ コンサルティング合同会社

以上 (順不同)

議題

- (1) 今年度実証実験について
 - ア. 実証採択者による進捗共有
 - イ. 質疑応答
- (2) 来年度の PT で取り組む内容や体制について
 - ア. 今年度 PT の振り返りとアンケート結果の共有
 - イ. 発表を受けてグループワーク

配布資料

資料1 今年度実証実験について(速報版)

資料2 第4回自律移動モビリティ PT

議事内容

1. 開会

2. 議題

- (1) 今年度実証実験について
 - ア. 実証採択者による進捗共有

- 損害保険ジャパン株式会社より資料1に沿って説明

イ. 質疑応答

- 発表内容に対する質疑応答を実施

(2) 来年度のPTで取り組む内容や体制について

ア. 今年度PTの振り返りとアンケート結果の共有

- 千葉市より資料2に沿って説明

- 第3回PTの振り返り

- 自動運転バス事業関連のグループワークでは、サインージやターゲットラインペイントの活用に関する意見が挙げられた
- サービスロボット事業関連のグループワークでは、パートナー企業探しや実施主体が課題だという意見が挙げられた

- アンケート結果の共有

- [自動運転]各種技術の組み合わせ

- ◇ 3Dマップと専用レーンについては導入すべきという意見が多数だったが、インフラ協調については導入コストと安全面の両立という観点で検討が必要

- [自動運転]インフラ整備と管理手法(主体)

- ◇ 市が主体となって行うべきという意見が多数

- [サービスロボット]実装に向け、次年度以降に最も力を入れるべきこと

- ◇ 幕張新都心内でのニーズ調査を実施すべきという意見が多数。ビジネス性の観点からニーズ調査やターゲット選定を行っていくことが必要

- アンケート結果を踏まえ、来年度取り組むこと

- ◇ 自動運転車については、コストを意識したインフラ整備方法の検討、専用レーンに関する必要箇所や実現性の検討、サービスの赤字補填策の検討が必要

- ◇ サービスロボットについては改正道路交通法に合わせたニーズ調査手法の検討が必要

- PT体制について

- ◇ 中間まとめ報告会での会員からの意見に基づき、現行の体制に関するアンケートを実施。その結果、PTメンバーの参加目的に合った新たな体制が必要という意見が多数

- 来年度の体制案

- ◇ アンケート結果に基づき、来年度は具体的事案に対して実施主体(リーダー)を筆頭に各PTを設置することで、小規模で迅速に動ける体制にする方針をとる

イ. 発表を受けてグループワーク

テーマ：来年度の PT で取り組むべき内容や体制について

- ワークシートを活用したグループワークを実施

3. 連絡事項

- 第3回モビリティ WG を2月下旬に開催
- 第5回総会を3月10日 14:30~15:30 に千葉市役所新庁舎（高層棟2階）にて開催
- 2023年度コンソーシアム運営体制については、第5回総会にて決定後、正式にアナウンス

4. 閉会

以上